



教科名： 法定2年点検・車検Ⅱ

2024年度

実習

一級自動車工学科・自動車整備科

時 期： 2 年 後期

科 目： 自動車整備作業

時限数： 32時限

<改訂履歴>

改訂年度	改訂事由	発行日/担当	
FY24	シラバスメンテナンス	3/22	合田
FY25			
FY26			
FY27			
FY28			
FY29			

教頭	課長	学年統括	教科担当	教科担当

一級自動車工学科・自動車整備科		2024年度		授業計画			
時期	2年後期	単元	実習	教科名	法定2年点検・車検Ⅱ		
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	定期点検作業要領書		発行日	2024年3月22日	
			日産3級整備士テキスト				
※注1 総時限	32時限		2級自動車シャシ		教科担当	長井 一真	
※注1 授業時間	51.2時間		法令J I G A K U教科書				
一般科目と休講等予期せぬ事態に備えた余剰分を含め、合計時間は1945.6時間（50分ベース）を確保（法定合計時間1800時間（50分ベース））							
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当							
自動車整備士として法定点検車検の実務経験がある教員により、法定2年・1年点検の点検項目を明確化でき、整備結果説明もできるよう指導する。							
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）							
1. 法定2年点検の点検項目を習熟。							
2. 整備結果説明スキルの習得。							
3. 法定2年点検と法定1年点検の点検項目を明確にて、法令問題の底上げを行う。							
3. 授業の到達目標（何を理解し何ができるようになるのか）							
1. 点検項目を見れば、該当する箇所を理解し点検ができる。							
2. 評価シート(別紙)に則った整備結果説明ができる。							
3. 法定1年点検項目と法定2年点検項目の区別ができる。							
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）							
実習評価点は、技術評価点（70点）＋レポート評価点（15点）＋取組評価点（15点）とし、60点以上（工学科は70点以上）を合格とする							
技術評価点							
・実技試験 80% ①整備結果説明ロープレ							
②法定2年点検実技試験							
・筆記試験 20% ①点検項目を区別する問題							
5. 準備学習							
1. 二年次のC巡で行った法定1年点検・車検の内容を復習・定期点検作業要領書をあらかじめ読んでおくこと。							
2. 授業終了後、教員から指示された教科書・資料の項目を復習しておくこと。							
※注1 総時限の1時限は、80分/1時限を表し、授業時間の1時間は、50分/1時間を表す							
※注2 ●⇒実務経験がある教員 ■⇒日産資格保持者							
6. 指導目標							
1. 法定2年点検の点検項目の習熟し、確実にスピーディーな作業ができるようにさせる。							
2. 整備結果説明の習熟し、正確に分かりやすく説明ができるようにさせる。							
3. 自家用乗用車等の点検基準において、1年毎・2年毎の項目を区別できるようにさせる。							

2024年度 授業計画

[illegible]

一級自動車工学科・自動車整備科		2024年度		授業計画	
時 期	後期	単元	実習	教科名	法定 2 年点検・車検Ⅱ
7．安全（KYのため必ず授業内で説明）					
番号	作業名	遵守事項		災害事例	チェック
1	エンジン始動時	始動時必ず声掛けを行う。 AT車のためにPでの始動を行う。		指をベルトに巻き込んだりしないように全員で 気をつける。	
2	リフト操作	上げ下げの声掛けを行う。			
3	灯火点検	AT車のためバックランプ点検後Pにもどす。			
8．授業レイアウト（写真の貼り付けも可）					
実習場					
第 2 実習場					
					
※車両は B 1 7 シルフィーを 5 台使用する。			実習車両1台当たり 4 ～ 5 名（5 グループ）で実習を行う。		